

# 今泉地区の まちづくり



「次世代担い手の掘起こし」

～NEO今泉の立ち上げと地域ホームページの作成により～

# ～ 1 ～ 今泉の歴史

# 1 今泉の歴史

当今泉地区は昭和43年以降の大規模な駅東区画整理事業によって、それまでの田園地帯が一変し、閑静な住宅地や多くの事業所が立ち並ぶ街並みへと大きく変貌し、また、近年ではLRTの開通によって沿線には多くのマンションが林立するなど急激な人口増加が見られるなど、都市部へと大きく様変わりした地域となっています。

1908年ごろ白揚高校



1928年今泉小学校創設



1935年ごろかましんの南側から小学校方面を望む



1966年富士山神社周辺



1973年白楊高校通り



1976年跨線橋(現在は今泉アンダー)

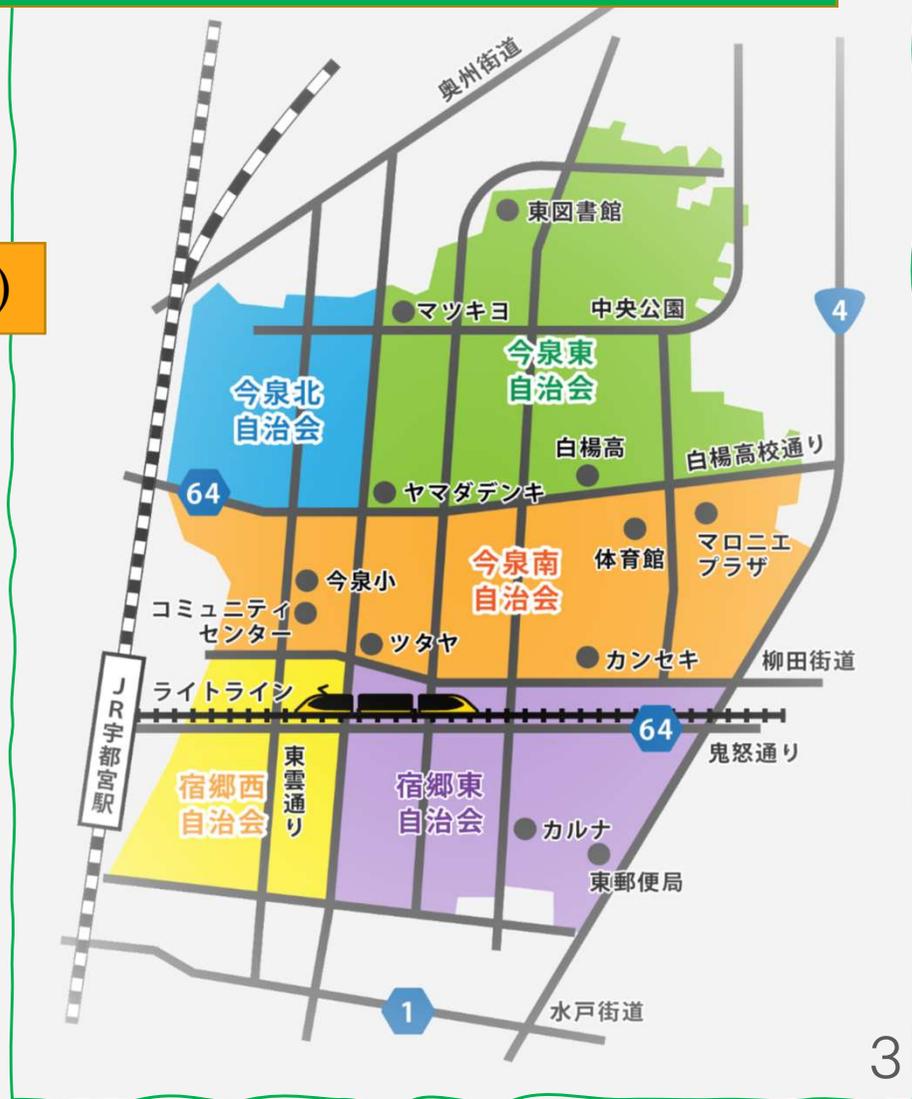


1994年東図書館を望む



# 今泉地区連合自治会概要図

・ 5 単位自治会 ・ 2,880 世帯

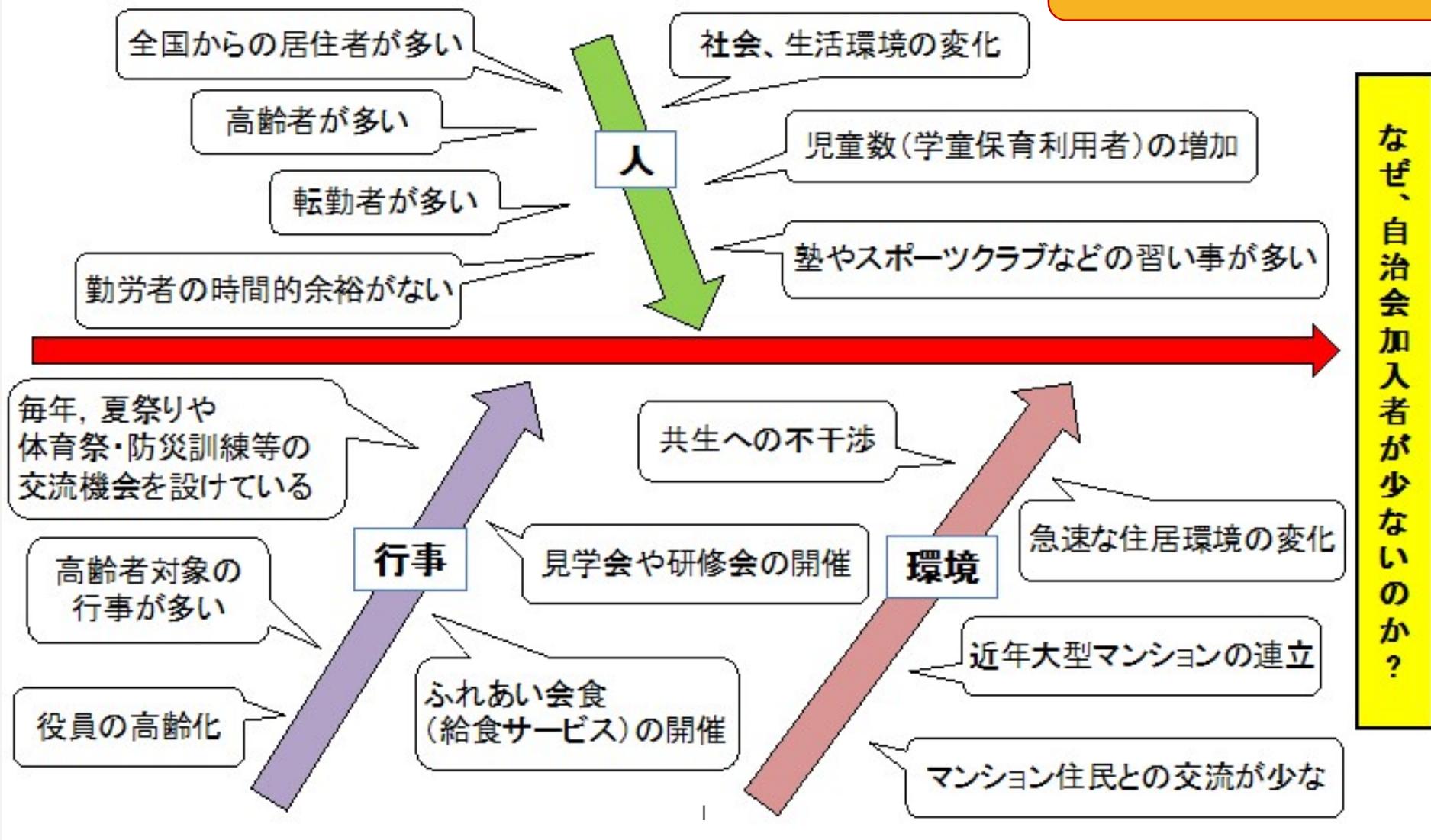


～ 2 ～

# 現狀分析

# 2 現状分析

## 特性要因図



## 2 - 1 「人の面」では・・・

- ① 全国各地からの居住者も多く、慣習や風土の違いに馴染めない。

(北海道や九州、更に主要都市からの移転者も多く、様式や文化・習慣に相違が見られる。)

- ② 高齢者世帯が多く、同居家族が少ない。

(日中は、高齢者世帯となっている。)

- ③ 共稼ぎ世帯や通勤・転勤家族が多いことから、地域との交流や活動に参加ができない。

- ④ 生活の情報網は、新聞からインターネットやSNSへと変化している。

(広報誌や回覧などは見たことがない。)

## 2 - 2 「地域の環境面」では・・・

- ① 宇都宮駅周辺やLRT沿線に中高層マンションが集中し、1棟100世帯と急激な人口増加がみられる。
- ② 自治会とマンション管理組合やアパートオーナーとの接点が少なく、交流や連帯感が乏しい。  
(不動産契約書（賃貸契約書)などの自治会加入条件が不明瞭。他県では地域と共生を示す項目が明記されている。)
- ③ 生活環境の変化から、近隣住民との接触が薄くなっている。  
(社会環境の自助 共助 共生等への関心が薄い。)
- ④ 個人商店の減少から地域の交流場所が少なくなっている。  
(住民間の情報交換場所が減少)

## 2 - 3

# 「地域活動の行事面」では・・・

- ① 毎年、恒例の各種行事には 多くの人に参加されている。

(主たる夏祭り盆踊り・体育祭・ハイキング・敬老会・コミセン祭り・ゴルフ大会・防災訓練等など )

- ② 毎月開催されるふれ合い給食やサロンには、高齢者が多く

参加 (単位自治会持ち回りで開催)

- ③ 年度計画や各種行事案内を回覧周知するが、未加入世帯への周知が不可能である。



～ 3 ～

# 現状分析の結果

## 3-1 「人の面」では・・・

- 転居したばかりで**近隣住民との繋がりも少なく**、自治会「班」への加入や連帯感が欠如している。
- 高齢者世帯が多く、また**同居家族が少ない**。  
(日中は、高齢者世帯となっており、地域活動は親任せとなっている。)
- **共稼ぎ世帯や通勤・転勤家族が多く**、地域との交流や活動に参加ができない。  
(東京への一極集中や共稼ぎ家庭の増加などから、小学児童の預かり教室への児童数は30%(180/600)と年々増加傾向が伺える。)
- 社会環境の変化で、**若い世代の自治会加入が少ない**。  
(生活環境の充実及びインターネット・携帯電話・SNS等の普及)

## 3 - 2 「環境面」では・・・

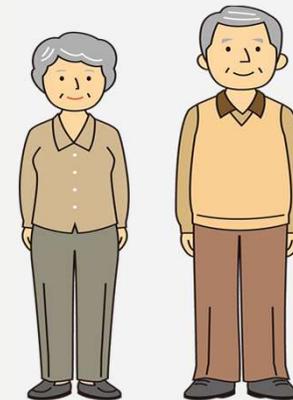
- 宇都宮駅に近い立地条件から、若い世代の都市や近隣工業団地への通勤者が多く、日中不在世帯が多い。
- 宇都宮駅周辺やLRT沿線に中高層マンションが集中し、1棟100世帯等と急激な人口増加となっている。  
一方、集合住宅(アパート)や賃貸マンションも多く、自治会加入促進が難しい。
- 生活環境の変化から、近隣住民との接触が薄くなっている。  
(社会環境の自助・共助・共生等への関心が薄い。)
- 個人商店の減少から、地域の交流場所が少なくなっている。  
(近隣住民間の情報交換場所の減少)

## 3-3 「行事面」では・・・(1)

- 毎年、恒例の今泉地区**各種行事には 多くの人**が参加している。  
(主たる夏祭り盆踊り・体育祭・ハイキング・敬老会・コミセン祭り・ゴルフ大会・防災訓練など。)
- **各部会開催行事にも、多くの方**が出席し参加されてる。  
(健康づくり・泉の森サロン・ファミリーカレッジ(今泉小保護者対象), わくわくステーション太陽の家(学童保育160~200名)など。)
- 年度計画や各種行事案内を回覧周知するが、**未加入世帯への周知が不可能**である。  
(全世帯数 約8,000世帯に対し, 自治会加入世帯2,900世帯 (加入率36.3%) )

## 3-3 「行事面」では・・・(2)

- 行事には地元**中学生ボランティア**が積極的に参加されている。
- 各行事の事前準備等に、**高齢者への負担**がかかっている。  
(日中の若者参加は難しい。)
- 出先事業所が多いため、地域と一体となった交流が見られない。  
(企業倫理・社会貢献度の低迷)



## 3 - 4 現状分析のまとめ

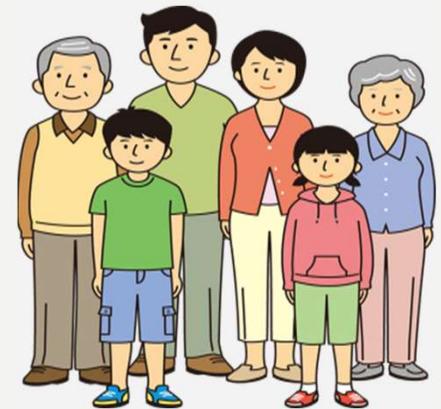
- 駅東地区の立地条件から日々の生活環境は、都市部や郊外への通勤や共稼ぎ世帯も多い。更に、居住環境では集合住宅(アパート)や賃貸マンションに転勤族も多く居住しており、自治会加入率の低迷を招いている。
- 地域活動では、毎年恒例行事や部会活動が積極的に行われ、保育園児から高齢者にいたる幅広い人々の親交が図られ、特に中学生ボランティアの参加により地域が一体となった活動が行われている。
- 宇都宮市が示す自治会加入促進対象地区(特定地域の補助制度)であることから、ここ近年の大型マンション建設に伴ない、入居者の自治会加入が増えている。

～ 4 ～

# 改善策の検討

## 4 改善策の検討

- 幅広い人間関係を構築するため、行事や部活動を通して交流を深め、転入者や居住者の参加を促進していく。
- 従来通りの夏祭りや体育祭等の地域行事を開催し、交流の場を広めていく。
- 活動の中心となる若手人材の確保と育成を進めていく。
- 地域情報を広めるためにも今泉地区ホームページを立上げる。  
(地域情報を多く発信する。)
- 市主催行事への積極的参加を呼びかけ、  
地域交流の場を深めていく。



～ 5 ～

# 改善策の実施

# 5 - 1 「NEO今泉」の立ち上げ

- ◆ 将来、地域の中核となる人材を育て、  
イベント企画から実施に至る活動を推進

地域団体「NEO今泉」の

立ち上げ …… 21名が参加

(令和6年度中に立ち上げ。  
前PTA会長や関係役員・  
子供会長等の参加で組織化し、活動中。)



## 5 - 2

# 「今泉地区ホームページ」の立ち上げ

### ◆ 地域独自のホームページを立ち上げて 情報の共有化を実施

★連合や単位自治会（5自治会）、  
コミュニティ協議会等、各部会からの  
入力画面で情報共有を実施。

（令和6年度導入。インターネットや携帯電話の  
活用による周知拡大。多言語に対応。）



## ～～今後の課題～～

○ 地域内保育園・幼稚園保護者や、小学校保護者を通じた自治会活動への参加と啓発活動の推進を進める。

（保護者や若年層を対象に普及活動を推進し、小学校や保育園保護者の積極的な参加を呼びかける。）

▪ 保護者間の連携強化や情報の共有化を図り、若手世代の自治会加入の促進を図る。

（協力と、安心した生活環境の推進・・・共生生活の定着）

○地元の文化を高め、神輿や盆踊り、運動会などを通して幼少期の「思い出」として残る楽しい活動を展開する。

⇒ 自治会活動の継承

ご清聴ありがとうございました。

